

議会運営委員会会議録

- 1 日 時 令和7年3月17日（月）
会議時間 14時15分開会 15時00分閉会
- 2 会議場所 役場3階 第1委員会室
- 3 出席議員 委員長：橋本晃明
委 員：只野敏彦、田村幸紀、川上 均、深沼達生
議 長：山下清美
- 4 事務局 事務局長：大尾 智、次長兼総務係長：川口二郎
- 5 議 件
(1) 議会モニター会議のまとめについて
(2) その他
- 6 会議内容 別紙のとおり

【開会 14:15】

(1) 議会モニター会議のまとめについて

委員長（橋本晃明）：只今より議会運営委員会を開催する。まず一番目、議会モニター会議のまとめについてである。2月18日に開催した令和6年度第2回の結果のまとめを行っていきたいと思う。横長の青い帯の入った資料は事務局が会議録からまとめたものであって、縦型のホッチキス留めしてあるものが会議録である。事務局から説明お願いする。

議会事務局長（大尾 智）：お配りした資料について説明する。A4縦の会議録、いわゆる録音したものであるので、ほぼ発言された一字一句を載せてある。その中で赤のアンダーラインで、例えば4ページの上の方からアンダーライン引いてあって、意見、後ろに意見1、それに対する回答として委員長等が発言した部分のアンダーラインが、回答の1というようになっている。アンダーラインで意見の何番、それに対する回答が回答の何番というようになっている。（1）の議会を傍聴して感じたこと、（2）でホームページやインターネット中継で感じたこと、7ページである。8ページの議会だよりを読んで感じたこと、10ページの（4）議会の進行でよくわからないこと、11ページの（5）モニター同士の意見交換を設ける必要があるか、これは今回特別に前回意見があったのでお聞きした部分である。12ページ（6）その他、13ページは最後にまとめの質疑というような感じで聞いた部分で、それぞれご意見と回答をアンダーラインで表示している。それを箇条書きにしてまとめたものが横長のものである。それぞれ今見ていただいたアンダーラインの部分を箇条書きにしたので、当日参加されていない、お休みされていた委員もいるので、一通り見ていただきたいと思う。まず、1ページ目の議会を傍聴して感じたこと、1で愚痴をぶちまけるような話し方、態度、YouTubeを見ていて気になるのでやめてほしいという部分で、これに対しては委員長の方で不愉快と思われぬように気をつけていくと、それぞれの議員が参考としてもらうということで、これについては特に今後の対応は必要ないと思う。2番目、休憩は取らなくてよいところで取っていないか、YouTube見ているといつ始まるかわからないというようなことであった。その辺は進行上の工夫が必要かと思うということである。なかなか議会の内部の話であるので、今後の対応はこうするということとはなかなか難しいと思う。3番目、これは一般質問であったワンストップサービスの部分で、帯広市とかで導入しているそうであるが、お悔やみハンドブックの導入を前向きに考えてほしいと、これは議会というより理事者サイドへの話だと思う、ということで委員長としては個々の議員が今後の議会活動の参考にしていくということである。4番目、これも一般質問に対するものであるが、合同墓地のアンケートをできるようにしていただきたいと、補足として前に議会で一度実施したいという答弁があったのだから、そこを議員としては追求していくことが必要ではないかということである。これについては特に答弁していない。5番目、模擬議会でパンの購入のお願いがあったけれども、答弁が堅苦しかったという話である。私の方から補足として、委員さんが思い違いしていたところもあったので、今は全く校売的なものではなくて、じゅん&まきさんの好意でやっていただいているというところ。それから、模擬議会が終わってからも意見交換して連絡を取ってはどうかということである、委員長の方では高校生と反省会のようなものについて、時間があれば検討したいということだったので、ここの部分

は後で協議いただきたいと思う。2ページ目6番、模擬議会であるが、当日は見れなかったけれども会議録が読めたということ、7番目、一般質問についてであるが、持ち時間20、30分程度でよろしいのではということであったが、補足として出席した委員さんからは、知らないから聞くということではなくて、知らないことは調べて理事者と問題解決の議論をすべきという話であった。これは今後議論の参考にしていただくという答弁である。議会だよりを見て感じたことということで、会議録のページがすぐ見られるようにしてほしいということであった。こちらは事務局のスピード感もあるけれども、新しい会議録の作成システムを新年度から導入するので、今までデータを業者とやり取りしていて、どうしても時間がかかったけれども、新しいシステムは直接文字起こしをするシステムにするので、できるだけ早くするということである。9番目、議事録ページが開けるQRコードやホームページにたどり着けるようにしてはどうかということであったが、広報委員会と協議が必要であるが、議会だよりのそれぞれの一般質問のページのところにホームページに飛べるようなQRコードを記載すればできるのではないかなという話をさせていただいたところなので、ここについても議運で検討をいただきたいと思う。3ページ目、10番で表紙の写真と裏表紙のインタビューについて、町の広報とは差別化が必要であるという意見であった。そこについては広報委員会で議論していただきたいということであったので、具体的な対応方法をご検討いただきたい。11番目、全員一致でない場合どのような意見が出たのかを載せてほしい、これについては特に回答していないが、特に意見を表明というのは、討論という形になるので、討論があった場合は議会だよりに載せているところである。それから道外研修の報告、詳細に載せたことはいいけれども、それが一般質問に結びつけばいいという意見であった。これは回答していない。議会の進行でよくわからないことということで、エピペンの部分に時間をかけすぎたという話があった。これは議会の質疑とは何かということと理解するということで対応は不要だと思う。事務局で打ち合わせされてスムーズな進行されているという、これはそのように評価されていればいいという話である。4ページ目、モニター同士の意見交換の場を設ける必要があるかということで、先ほど申し上げたように、その前の1回目のときにそういう機会を設けたらどうかということだったので、今回それぞれ委員さんからどうかというように聞いたところ、3名から回答があって2名必要なし、必要であり1名で、北村さんを入れると大体半々という気がする。吉国さんからは、そういう話し合いをして擦り合わせたら会議自体が短くなるのではないかなということ、そうすることによって会議の参加者が増えるのではないかなという意味で必要であると言っていた。委員長は、すぐに設けることにはならないと思うけれども、次期のモニターからそういうご意見があれば検討していきたいというように回答していた。その他ということで、出田さんからは別紙でお配りした部分があったので、それは読んでいただいて、今後の議員活動に参考にすると、それから17番、議員が連携して住みやすい、住んでよかったまちにしてみらいたい。これは意見として伺う。鹿追町が始めた議員のなり手塾、清水でもできないかと思ったという話であった。これについては特に会議の中での回答はしていない。19番、それに関連して、ミニ報告会みたいなものを検討してほしいということで、意見交換会もやっているけれども、例えば何かのイベントの時にブースを設けて、その場で議員と語るとかいうことを他の町でやっているところもあるので、議運の中で検討したいと答えているので、それについて検討いただきたいと思う。浦幌町BGMは承ると、モニターから出た意見をホームページに載せてほしいというのは、既に議事録とこの検討結果を載せている。22番、議会報告会のテーマについては、事前にわかった方がいいのではないかな、これも周知をしているという答えをした。ただ、もう少しピンポイントテーマの方が話しやすいということがあって、次年度に向けて検討していく予定であると答えた。それは既に議会活性化の中間報告で、そういう中身を報告しているので、今年に向けてもそういう方向で進むということである。

23番、町の各種委員会の委員同士が話しないとなかなか建設的な話が進まないという話がされていた。以上が一通りの説明である。私の方で今後の対応のところで、赤で対応方針検討というところは、議運の中でどうしていくか、例えば、広報委員会にお願いすること、必要な部分であれば委員長名で広報委員長の方に申し入れをするとか、そういう形でまとめていかればいいのかではと思ったので、今私の申し上げた方法で良いかどうか含めて、議論いただければと思う。

委員長：事務局からまとめについて説明があったけれども、右の今後の対応というところに赤字で対応を検討するというようになっている部分について、今どういう対応するかというのを具体的に書いていくという進め方でよろしいか。

（「はい」との声あり）

委員長：まず1 ページ目の項目の5、清水高校模擬議会についてパンの購入週5日できるようにお願いしたい、また、もっと柔らかい夢を持てるような答弁を期待するところについて、意見のやり取りがあったわけであるが、やりっ放しではなくて、高校生と反省会のようなものについて時間があれば取り入れることも検討に値するということに回答しているが、今後の対応についてどのようにしたらよいか、皆さんから何かあるか。

議会事務局長：実は模擬議会については前にも話したとおり、今のやり方で一般質問いただいて、答弁書をいただいたときに高校生と打ち合わせする。その辺の深い一般質問がという話があったので、高校ともう1回ぐらい、今2回事前指導と一般質問で、答弁書返ってきたときにどう再質問するという2回しかやっていないけれども、その回数もう1回、それは高校がある話なので、授業の組み立ての中でどこまでできるかわからないけれども、もう1回ぐらい増やして、そこをもう少し丁寧にやって、上手く答弁が引き出せるような一般質問にしていくということの必要性は前の活性化の中間報告の中に入れている。今回その反省のようなものということがあるので、これも高校と相談しなければならないけれども、時間が許されるのであれば、終わった後にどうだったかというものもできればいいと。増やすとすれば今2回しかやっていないことが4回になるけれども、果たしてそれが高校の授業で許されることなのかかわからないが、その辺いつも年度変わったときに、議長と議運の委員長と高校に今年もよろしくという挨拶に行ったりしているので、そのときにその辺含めて、終わった後も何かできればいいですねという話をして、うまく取り込めればできるのではないかなと思う。

委員長：議会運営委員会の中でもこれについては、もう少し回数増やして中身の充実を図ったらいのではないかなということが出ていたので、清水高校と協議の上ということをつけた上で、回数増であるとか、それから振り返りについては、別な日でなくても、その日終わった後に時間を設けてやるというようなことも含めて検討していくということによろしいか。

川上委員：要するに反省会やって、何を目的に反省会やるかだと思う。次年度に向けての反省会なのか、今回終わったことについて反省会やっても意味あるのかと私は思う。それと前提として高校模擬議会继续する、それも3年生で継続するということで進めているのかもしれないけれども、2年生にしたらどうだとか、中学生はどうなのかという議論全くない中で、説明もこれどうなのかと。それは別かもしれないけれども、そういうことも含めて今後について検討しないと、このままただ継続するというだけであれば、それはそれでいいのだろうけれども、そういう議論も必要ではないかと私は思う。

委員長：中学がどうか2年生の方が良いのではないかというのは、今後の学校側との協議だとか、議運の中での議会活性化の議論の中でのことだと思うが、ここで言っている反省会というのは、その日、生徒もやったことについてどういうように評価されているのか、あるいは自分たち頑張ったという確認もしたいのではという部分があったので、例えば質問して答弁が思ったようなものでなかったときに、モニターからはもっと夢の持てるような答弁を期待するというようなことがあったけれども、議員の側として高校生にああいうものだということに、そんなに落ち込む必要はないというように言うのか、その辺も含めて質問して答弁ありました、ご苦労様でしたということだけではなくてという意味もこの中には入っている、それが良いか悪いかというのはまた改めて検討していったらいいと思うけれども、いずれにしても高校生の授業の中でやるということを考えれば、高校生を対象にしてということも議論しなければならないのかもしれないけれども、一応自分たちのした質問は適当だったか、どうだったかという確認もしたいのではないかとすることが、やったけれども答弁が冷たかったというようにモニターでも感じたところもあるし。本式でやっている、容赦ない答弁だったという、それはそういうものだとか教えるのか、そのところというのは、終わった後に議員のフォローが必要だったのではというのは私が思ったところで、皆さんどのように感じるかというのは、それも含めて今後の対応の中では次の控えのために検討していく必要があると思った。

川上委員：それは理事者側の対応だと思う、あえてそれをフォローするとかそういうことではないと僕は思う。それよりも事前にきちんと、僕も不十分だったと思うのは質問の内容、再質問の内容、それについてもっともっと議論を深めていくような形のものを作っていかないと、質問の趣旨がよくわからないような質問をしていると、そういう答弁になってしまうということもあるので、事前の準備がもっと必要だと、議員側の準備も必要だと私は思う。

只野委員：私は最後の終わった後にもう1回というのも生徒にとっては有意義なことなのではないかと思っている。というのも、どうだったのかというところの部分というのは将来に生かされるものかもしれないので、そういう点については学校側の対応もあるけれども、やれるならやってもいいのではないかと思っている。

田村委員：私も只野委員の意見と同じような感じであるけれども、生徒が模擬議会をやるために一生懸命調べインプットしたことを、議会の場でアウトプットという形で発表して、それに対してどうだったというのを、後からの反省の場、公表とかも含めてアウトプットしたら今度はアウトカムが必要だと思う。そのことが、ある意味次の社会に向けて出たときのインプットにもなるので、反省というのはやった方がいいと思って、川上委員言われた事前の勉強会というのを学校が許すのであれば回数は増やした方がいいと思っているので、事務局が最初に言った事前学習やって通告等の勉強会を2回、そして反省会という4回は最低高校と協議して確保したらいいと思っている。

深沼委員：実際今まで2回高校生と打ち合わせしている中で、最後、答弁書もらった中で高校生とやり取りして、90分、2時間ぐらい、実際それが時間的に足りているのか、実際私たちもその日いきなり見てアドバイスという形なので、少し私達もそのことに関して一緒に、田村委員が言ったような、もう1回高校生と時間が許すのであれば、短い時間でも時間設けられたらいいと思う。より良くするために。

委員長：今出た意見をまとめて事務局の方でまとめていただきたいと思います。いずれにしてもせっかくの模擬議会なので、充実したものにできるように検討していくということでよろしくお願いします。次に項目の9、議事録ページが開けるQRコードや

どうしたらホームページにたどり着けるかを記載してほしいという部分については、できるということを回答しているけれども。

議会事務局長：補足すると、要は議会だよりを読むと要約されていて全部載っていない。なので、字面だけ読むとわからないところがあると言って、そこに例えば何々議員のページにQRコードが載っていて、そこを読み込むとホームページのYouTubeのページ、あるいは細かい会議録のページに飛べるようにしておくと、詳しく見られるという話である。要するに議会だよりの1ページだけ読んで、わからない部分をもう少し知りたいときにすぐ行けるようになったらいいということである。私がここで想定して答弁したのは、個々の議員の一般質問の1人1ページの部分、そこに載せることによって、議事録であったり映像で見たいということであれば、YouTubeのアーカイブのところに飛べるようにして、実際のやり取りが聞けるということは可能だと思うという答弁をしたところである。なので、ここをもしあれであれば、さっきも申し上げたが、議運の委員長から広報委員長に申し入れてはいかがかと思う。

委員長：何項目も質問しても3項目しか載らないというような問題もあるので、これについてはQRコードを設置して全部が見られたり聞けたりするような形にできないかということについて、広報委員会の方にこの旨を伝えるということにしたいと思うがよろしいか。

（「はい」との声あり）

委員長：次に項目の10番目、表紙写真と裏表紙のインタビューについて町広報紙と差別化が必要であると、議会についての思いを聞き出すべきであるという意見が出てきて、これは議会らしさという部分をどうやったら出せるかという部分もあるけれども、これもどのように申し入れるかという部分もあるとは思いますが。

議会事務局長：この部分はなかなか難しい。この時点でどう議論してこうやってくださいというよりも、モニター会議で意見出ているから伝える的な感じで広報委員会に伝達したらいかがか。あまりここで議会らしくないから変えたらどうかというのは広報委員会も難しいと思うので、ここは意見があったのでと。

委員長：モニターの言っていることも全くわからないわけではないけれども、具体的にということにはならないので、こういう声があったということを広報委員会に伝えるということによろしいか。

（「はい」との声あり）

委員長：次に4ページ項目15、これは以前も話題になっていたけれども、モニター同士の話し合いの場を設けてはどうかということであるが、前はモニターの話なのでモニターに決めてもらってはというような形になっていたと思うが、これについては皆さんどう考えるか意見があれば出していただきたいと思うが、特になければ次期のモニターの新しくなった方々の意見を聞きながら、希望に沿って進めるということによろしいか。

（「はい」との声あり）

委員長：次に5ページの項目19、議員のなり手を発掘するというような意味だと思う、ミニ報告会をして議会と有権者の距離を縮めるというようなことで活性化に向けて検討してほしいということである。これには議長から町民と話のできる場を設

けている町村もあるので、議論の中で検討していきたいと考えると回答をされた。
これについては議会活性化の議論の中で検討するということによろしいか。

（「はい」との声あり）

委員長：次に22議会報告会のテーマについて事前にわかった方がいいのではないかということですがこれについてはチラシ議会報告会自体を案内する時点でもうテーマが書いてあるので周知はされてると思うんですが、さらに、何か皆さんの方からあればサンチョ

■speaker1

これ米印つけて常に見てあるように中間報告にも同じように

■speaker0

そこに書いてあるんですよ

■speaker1

ね。

なので、もうそういう方向で来年はやってくよっていうような認識でいいのかなとは思っています、はい

■speaker0

これについてはあれですねテーマがわかった方がいいんじゃないかという指摘を受けて
実際やってるのに言われてるので、それはさらにわかりやすく周知していくというようなことでこれはあれですね。

■speaker6

周知のわかりやすさをしていく

■speaker0

っていうことが、うん

■speaker6

付け加え

■speaker0

ない既に検討済みではありません。
はい川上

■speaker2

これはテーマが住民

■speaker3

の要望

■speaker2

に沿ったような中身でないから結局そういうことを言われるんであって、やっぱりテーマの選び方をきちんともっと住民に根ざしたやっぱりものにしていく必要があるのではないかと私は思っております。

周知の仕方ではないと思います。

■speaker0

テーマについては毎回テーマの決め方についても議論してますので年度によって必要な適切なテーマっていうものを考えていくということによろしいですか。

とりあえず以上で対応検討しようかという項目については一応ありますけど他に皆さんからこの中でありますか。

それではこのまとめの結果をですね、3月18日、明日ですけども、明日の全員協議会へ報告したいと思います。

必要に必要があればということですけどもまとめの結果を各常任委員会へ通知して、それぞれの委員会で検討、対応するというところで依頼するという部分も考えておりましたけども、特にそれに勝ち勝ち筋か、該当するような項目があったか、ちょっとお伺いをしたいと思います。

■speaker6

今の感じでは、広報

■speaker1

委員会、

■speaker0

皆さんから特になければ先ほどの対応の中で常任委員会は特になしということによろしいですか。

はい。

ではその他でございますけれども、括弧2ではなくてですねこのまとめの中でですけども、議事録とまとめ結果をホームページの議会モニターとのページに掲載したいと思います。

3月の14日から5月2日までに、の期間で新たなモニターを応募するとこれについては町のお知らせ版とホームページで行いたいと思いますが、これについては

■speaker1

ごめんなさい、

■speaker0

はいはい。

■speaker1

14日からなのでもう実は始まっています。

ホームページ見ていただければ、募集要項等載ってますのでよろしくお願いします。

一点あれですね。

あまり集まらない可能性がありますそうですそうなったときにはまた皆さんにご足労どなたか

■speaker0

公募ということなので応募される方は何よりですけども、皆さんの方からもお声掛けしていただければというふうに思います。

■speaker6

だから団体からやるのか、募集する段階で示すんだとか、どこまでを変えるっていうことを

■speaker1

議論

■speaker6

してないとやっぱり議論しなきゃ駄目じゃない。
議論の中で項目をかけてもまとまることが同じことを繰り返される。
はっきり言って、

■speaker0

原則公募で公募でなくなかったらっていうことなんですね

■speaker6

必要かもしれない。

■speaker0

はい。
これについてはそうですねまだ期間がありますので、いかにモニターさんたくさん集まっ
てもらおうかということの中で検討してまいりたいと思います。

■speaker6

わかりました。
そうするとですね

■speaker0

そうです。
はい。
うんそうですね。
はい。
はいそれでは議会モニター会議のまとめについて、皆さんから何かございますか。
はい。

では次に括弧2のその他ということでこれは議会の活性化の議論の進めていくということ
で今後の方針進め方について協議をしたいと思いますが、まず新地進捗状況につ
いてどこまで予定通りにいってる行っていないも含めてちょっと事務局から説明
をお願いします

■speaker1

そうですね要望なかなか今回所考えもあつたんですけども、前に中間報告したのが10月で
すよねその後なかなか定期的な議論っていうのができてなくて、中間報告以降は
ほぼ進んでない状況なんですよ。

あの中で今号下半期議論していきましようっていう部分に多分さっき川上委員も言われ
てたような部分も入ってたのかなちょっとごめんなさい、今精査してないんです
けどということもあるので3月定例会終了後現実的には、4月以降ですね、その頻
度を増やしながら、さっき言われてたようなモニターの各団体からも出してもら
ったらどうだっていう議論も含めて、改めて特に集中的にやっていかなければなら
ない。

物を早めに結論を出して周知しなければならないものも含めがあると思うので、それを進
めるためにはやはり、うん。

頻度を増やしていく必要があるんだろうなというふうに思い

■speaker0

ます。
議会の活性化についてはですね今後、今までは月1回やっていこうということで参りまし
たけども、月場合によっては月2回とか、議会のない月についてはですねそうい

うことも含めながら進めていって、特に4年のうちの3年目に入ってますので、次期の4年後に向けてですね、いよいよ定数だとかそういったものについても、ある程度結果を出しながら結論を出しながらですね、いく必要があるということから、皆さんにもご協力いただいてですね、進めてまいりたいと思います。

よろしいですか。

ちょっと休憩しますね。

はい。

それでは次回の開催につきましては、今回、今3月の議会の中で調整しながら日程を決めてまいりたいと思いますので、ただ早いうちにやりたいと思ってますので決まりましたらよろしくお願いいたします。

皆さんから何か他にありますか。

なければ本日の議会運営委員会はこれで閉会といたします。

ありがとうございます。

委員長：休憩前に引き続き会議を開く。

(2) その他

【休憩 14:56】

【再開 15:00】

【閉会 14:42】